



にほんごコミュニケーション

個別訪問事業
まちのにほんご伴走隊

地域の日本語教室 ヒアリング訪問レポート

～地域の日本語学習、多文化コミュニケーションを応援します！～

よこはま日本語学習支援センター（以下、YNC）が取り組む個別訪問事業「まちのにほんご伴走隊」では、地域日本語教室などからの依頼に基づき、情報共有や課題解決に向けたサポートを行っています。その取組みの一環として2024年7月・8月に地域日本語教室を訪問し、教室を見学するとともに、活動状況や課題などについてお話を伺いました（17教室／一部教室は9月に訪問予定）。地域での小さな国際交流の様子をお届けします。

日本語学習支援の場には、笑顔がたくさん！

「夏休みなんてなくていいのに…」—教室の長い夏休みを惜しむ学習者の声も聞かれた今回の訪問。どの教室も笑顔であふれ、和気藹々とした雰囲気です。皆さん「学習者も支援者も楽しんで帰ること」を目標に、教室でのコミュニケーションをととても大切にしているようでした。

また、地域で暮らす外国人のこのような「居場所」を維持していくため、時代やニーズに合った支援方法を模索しているのが印象的でした。教室によって活動方針はさまざまですが、大切にしていることや抱える課題には共通する点も多いようです。他の教室の状況に触れ、「同じで安心した」とホッとされる場面もあり、改めて地域間・教室間のつながりが大切であると感じました。



「この教室が好きで、引越した後も家族5人で通っています。」「会社で日本語を使う機会が少ないので、ここでたくさん話します。」など、教室を愛する学習者がたくさん！

入門講座受講で、日本語学習支援の第一歩を

横浜市の国際交流ラウンジでは、日本語学習支援に関心がある方のための「日本語ボランティア入門講座」を開催しています。皆さんも、日本語での支援の第一歩を踏み出しませんか？くわしくは、お近くの国際交流ラウンジにお問合せください。

訪問した担当者から

今回の訪問をきっかけに、YOKEがより気軽な相談先になれるといいなと思います。これからも機会を見て、積極的に訪問をしたいと思います。

個別訪問事業 まちの日本語伴走隊

地域で活動している皆さん

日本語に関する、こんなお困りごとありませんか？

日本語教室で日本語学習者のレベル差が大きく、対応に困っています。

子育て支援施設で外国人保護者と、コミュニケーションが思うように取れません。

地域の団体で区民向けの日本語支援講座を、どのように企画したらいいでしょうか。

地域日本語教育コーディネーターや地域日本語教育の専門家等 YNC スタッフやアドバイザーがサポートします！

相談の流れ

問合せ・申し込み → 日程調整 → 個別相談（1・2回） → 検討・提案・協議

利用できる団体

横浜市内で活動する、地域日本語教室や日本語学習支援に関わる団体／外国人利用者のいる施設など

お問合せ

よこはま日本語学習支援センター（YNC）

運営：公益財団法人 横浜市国際交流センター

<https://yokohama-nihongo.com/yncsc/20240705>



←訪問した教室からのメッセージは、こちら。

<https://yokohama-nihongo.com/report/ync-r/nl202409-1#message>

2024年度「地域日本語教育の総合的な体制づくりに係る実態調査」を実施

横浜地域における日本語教育（日本語学習支援）をめぐる実態と主要関係分野などの意向を調査中です。当調査を踏まえた新たな「横浜市地域日本語教育推進基本方針及びアクションプラン」の策定は、2025年3月を予定しています。

「日本語学習支援FAQ」を、YNCホームページにて公開中

「日本語学習支援って何をやるの？」「日本語教室をはじめるには？」など、日本語学習支援に関する疑問や悩みをまとめたFAQ集をつくりました。ご活用ください。

<https://yokohama-nihongo.com/support-faq>



もしもの時のために、知っておこう！

じしん さいがいじ やくだ じょうほう
地震などの災害時に、役立つ情報

日本は、地震などの災害が多い国です。ここでは、知っておくと役に立つ災害時の日本語や、WEBサイトについて紹介します。



家にいる時に、強い地震があったら…

安全を確認して、テレビの放送をチェックしよう！

下の例は、地震が起きた時に、テレビでよく使われる日本語の文章です。意味を知っておくと、もしもの時に役立ちます。

① ただ今、震度6の地震が発生しました。まずは、身の安全を確認してください。揺れがおさまったら、火の始末をしてください。落ち着いて行動してください。

② 津波の恐れがあります。海岸付近の方は、高台に避難してください。



解説① 今、震度6の地震がありました。まずは、自分の体を守ってください。揺れなくなったら、(コンロなどの)火を消してください。あわてないで、行動してください。

解説② 津波が来るかもしれません。海の近くにいる人は、高い場所に逃げてください。

震度…地震の強さを表します。数字(1～7)が大きいほど、強い地震です。

英語などで、今の情報を知りたい時は…

横浜市災害情報ポータルサイトにアクセスしよう！

横浜市が発信する、災害情報をまとめたWEBサイトです。どのような緊急情報が発表されているか、確認することができます。9つのことばで、見ることができます。



横浜市災害情報ポータル
<https://bousai.city.yokohama.lg.jp/>

災害が起きる前に、できることは…？

YOKE 災害情報サイトで、「備えるため」の情報を知っておこう！

災害は、いつ起きるか分かりません。いざという時のために必要なことを、調べておきましょう。13のことばで、見ることができます(機械翻訳)。



YOKE 災害情報サイト
大きな災害があった時は、災害情報を発信します。

<https://www.yokesaigai.com/>

連載インタビュー

外国につながる皆さんに、生活の中での日本語との関わりについて話していただくコーナーです。

第15回

横浜で暮らす外国人 トークリレー



ジュディリン・オリランダさん
フィリピン出身/日本に来て1年

文化の異なる人とのコミュニケーションで、工夫していることは…？

「日本語でのコミュニケーションスキルを磨いて、友だちの輪を広げていきたい！」—そう語るのは、人とコミュニケーションをとることが大好きで、みんなを笑顔にする不思議な力があるジュディさん。その「不思議な力」に隠された、ある工夫とは…?! 日本で体験した楽しいエピソードとともに、来日前から頑張っている日本語の勉強などについても語っていただきました。

このインタビューの全文は、YNC ホームページで読むことができます➡

<https://yokohama-nihongo.com/interview/talkrelay-ja/202409>



この連載の他、YNC が紹介してきた記事を読みやすくまとめています。

YNC ウェブマガジン

<https://yokohama-nihongo.com/magazine>

お知らせ

YNC / YOKE 開催講座のお知らせ

教室が始まる1ヶ月くらい前に、YNC ホームページで募集をします➡



<https://yokohama-nihongo.com/>

9月

外国につながる親子向け「みんなでからだをうごかそう! ファミリースポーツデー」(共催)

YOKE 日本語教室(みなとみらい教室)
～伝え合おう! 私のこと、横浜のこと 第2期

10月

YOKE 日本語教室(オンライン教室)
～伝え合おう! 私のこと、横浜のこと 第2期

オンライン日本語教室
「よこはまでつながるくらしの日本語」10月コース
ウクライナ避難民対象
「にほんごクラス“ドゥルーズィ”みらいコース2

外国人従業員向け日本語教室
「今すぐ使える! しごとの日本語教室」2期

11月

オンライン初期日本語教室
「はじめての横浜～日本語で話そう」秋コース

